

# 祝辞

## 近畿病院図書室協議会 発足15周年を祝して

淀川キリスト教病院

院長 白方 誠 彌

近畿病院図書室協議会発足15周年に際し、心よりお祝いを申し上げます。

近年、科学技術のめざましい発達と多くの医療機器の開発、導入により医療は飛躍的な進歩を遂げました。また、わが国では高齢化社会の到来によって、医療費が増大し、経済に大きな影響を与えはじめています。

これからは患者さんが病院を選ぶ時代になってくる、患者さんに選ばれる病院にするにはどうしたらいいかを真剣に考えなくてはならないと思います。患者さんに選ばれる病院になるためには、まず病院機能のレベルアップが必要で、それは医療従事者の実力養成なしには不可能です。私達医療に従事する者はそれぞれの分野で迅速に情報を獲得し、豊富な知識や十分な理解をもつ必要があります。そのためには、まず勉強することです。そこで、病院図書室の充実とその利用が改めて大切になってくるのです。

しかし、高度情報化社会の現在、医学資料の急激な増加やオンライン情報検索の普及に対して、1つの病院図書室で十分な対応をすることは到底不可能です。しかるべき情報網の整備が必要になってきます。近畿病院図書室協議会は発足後15年に亘って会員間の文献の相互利用を推進してこられました。また、年3回の研修会を開いて、図書室担当者の教育を行う等、病院図書室の質的向上に果してきた役割は大変大きいと思います。

最近、近畿地区医学図書館協議会とのネットワークに関する交渉も行われたと聞いておりますし、また会員間の資料の分担収集や分担保存等も考えているとのことでした。

昨今の医療環境、情報環境を考えますと、協議会の存在意義はますます大きくなっていくものと期待しております。15周年を期に、新たな飛躍を遂げられんことを、また皆様のご活躍と研鑽とを心よりお祈りいたします。